

# 第 11 回 ATEM（映像メディア英語教育学会）北海道支部大会

テーマ：英語教育における音楽の活用方法を探る

日時：2023 年 1 月 22 日(日) 10 時～ 参加無料・予約不要

会場：オンライン（Zoom ID 557 188 9301）※待機室経由（パスワードなし）

## プログラム

09:30	接続テスト（希望者のみ）
09:45	参加者へ開室
09:55	開会挨拶（支部長）
10:00	基調講演（司会：支部長） 「ポップスを使った教材開発－投げ込み教材、授業プリントで終わらせないために－」 角山照彦（広島国際大）
11:00	発表 1 関口美緒（東日本支部）
11:30	発表 2 NISHI Yoshikazu CHISAKA Naoto (Hokkaido Chapter)
12:00	ランチブレイク
13:00	発表 3 藤枝善之（西日本支部）
13:30	発表 4 北間砂織（北海道支部）
14:00	発表 5 遠藤未央（北海道支部）
14:30	発表 6 松田愛子（北海道支部）
15:00	閉会挨拶（副支部長）
15:05	交流会（希望者のみ）

## ----- 要旨集 -----

### 基調講演（10：00-11：00）

#### 「ポップスを使った教材開発－投げ込み教材、授業プリントで終わらせないために－」 角山 照彦（広島国際大学）

英語教育においてポップスは古くから広く活用されているが、教材としての価値は未だ現場教員に十分認識されているとは言えない。本講演では、これまでの活用法、およびその利点と問題点を検討し、現状を改善するための現実的な方策の一つとして試みてきた教材開発について解説する。特に、出版に関わる音源確保や著作権問題に焦点を当て、これまでの実践を投げ込み教材で終わらせず、出版につなげたいと考えている方への一助としたい。

【講演者プロフィール】広島国際大学健康科学部医療福祉学科教授。専門は英語教育学、応用言語学。ATEM 第 4 代会長を 2011 年から 2013 年まで務める。著書は『映画を教材とした英語教育に関する研究』（2008）、『Communicate in English with glee』（2018）など多数。また、音楽をテーマとする教科書には『ポップスで学ぶ総合英語[改訂新版]』（2011）、『English with Pop Hits』（2015）、『ポップスでスタート!基礎英語』（2020）などがある。

## 研究発表 (11:00-15:00)

### 発表1 (11:00-11:30)

#### 「日本と欧米のラブソングを通して見える視点の差異」

関口美緒 (名古屋大学・University of Maryland Global Campus)

日本語と英語は、言語的な距離が最も大きいと言われ、言語習得が困難な言語である。今回の発表では、ラブソングを題材にし、ラブソングのアプローチから見える話者の視点の差異に着目する。そして、文化的差異の理解から言語表出にどう関わっているのかを考察する。また、中上級日本語学習者(留学生)を対象に日本語のラブソングを聞いてもらい、感想や愛のアプローチに対する意見を参考にし、皆さんと言語習得について考えたい。

### 発表2 (11:30-12:00)

#### “Studying English from music, especially the Beatles”

NISHI Yoshikazu (Former high school teacher)

CHISAKA Naoto (Director of chemical supply company)

This is not academic, but just personal experiences. We will talk about “music and English” in an interview style. Mr. Chisaka has been listening to the Beatles since 1971 after the Beatles broke-up. At that time, John's "Imagine" and George's "My Sweet Lord" had big hits. The Beatles helped Mr. Chisaka to study English. It also helped him with hearing tests for university entrance exam. You can hear “A Day in the Life” from the album *Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band* in this presentation. Please look forward to it.

12:00-13:00

ランチブレイク (スライドショー上映を予定)

### 発表3 (13:00-13:30)

#### 「続・英語圏映画の字幕を味わう」

藤枝善之 (同志社大学)

映画を引き立てる分かりやすい日本語字幕を付けるために、字幕翻訳者がどのような技を使い、工夫を凝らしているかを見る。去年は字幕の概論・歴史・制約を中心に発表したが、今回はその続編で、個々の映画の字幕を作品として分析し、鑑賞する。採り上げるのは、高瀬鎮夫『ある愛の詩』、清水俊二『お熱いのがお好き』、戸田奈津子『地獄の黙示録』その他である。これらの字幕を読むと、日本人の映画の鑑賞に翻訳家がいかに貢献しているかが分かるだろう。

### 発表4 (13:30-14:00)

#### 「スピーチの授業での音楽の活用」

北間砂織 (北海道大学)

コロナ禍での感染予防のため、授業では学生にはできるだけ声を出させず、声を出す場合はできるだけ小さな声で、お互いの距離を開けるように指示されている。以前のようなペアワークでの練習が難しいため、アクティビティとしてスピーチを取り入れることが増えている。いろいろなテーマで学生が自由にスピーチを行う中で、「Music」のテーマでどのように授業が展開されていったのかを報告する。

## 発表5 (14:00-14:30)

### 「寛容性を高める授業に役立つ southern rock～Lynyrd Skynyrd 編～」

遠藤未央 (藤女子高等学校)

1970年代に人気を博した Lynyrd Skynyrd は視覚イメージに南部旗を掲げた southern rock のバンド。南部旗は奴隷制度や黒人差別を正当化する「人種差別の象徴」。カナダ人歌手ニール・ヤングが米国南部の奴隷制度を批判した曲に対する彼らのアンサーソングが Sweet Home Alabama であり、その歌詞は黒人差別を擁護しているように聞こえる。後に彼らはその解釈を否定し、トランプ前大統領が選挙演説中にこの曲を使用したことにも抗議の意を示している。彼らの真意は別にしても、歌詞を読み解くことで米国南部の人種差別に対する理解を深めることができる。

## 発表6 (14:30-15:00)

### 「訳しきれない英語たち～劇中の名曲引用を通じて言葉と文化への興味を引き出す」

松田愛子 (北海道大学)

英語の授業に映像作品の中の音楽を取り入れる場合、ミュージカル以外ではどんなことができるだろうか。今回は日本語版の字幕や吹替訳では説明されない劇中の名曲引用に着目。その引用元を知ることで、言葉の奥深さや雑学の大切さを学べるアイデアを紹介する。背景を知らなければ素通りされがちなシーンやセリフの工夫と面白さ、訳出の苦労を考えることは、異文化や外国語をもっと理解しようとする心を育てることへつながる。

## 交流会 (15:05-)

気軽なフリートークの場です。

お時間に余裕のある方はぜひご参加ください。

(30分前後を予定)

※支部総会は、3月の支部研究会内で行います。

-----

### 【お知らせ】

当支部では毎月10日、19-20時にオンライン支部研究会を開催しています。前半は「マイエシエア」と題し、映像メディアと英語教育の情報交換を、後半は支部運営に関する打ち合わせを行います。予約不要でどなたでも参加可能、会員外の見学も歓迎しています。もちろん参加は無料です。

<支部の主な活動>

- ・支部研究会(月1)、支部大会(年1)の開催
- ・支部SNSでの情報発信
- ・全国大会への積極的な参加
- ・他支部や姉妹学会との交流
- ・その他、語学教育活性化にかかること

20230114版

### ATEM 北海道支部

支部長：齊藤巧弥 (札幌国際大学)

<http://www.atem.org/hokkaido>

<https://twitter.com/ATEMhokkaido>

